

| <p>△産業宣教/金土日時代のやぐら 28 産業人重職者の最後の作品(使 6:1-7)</p> | <p>△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 28 急務な刻印の癒やし(創 3:4-5)</p> | <p>△核心 3 根本癒やしとサミット(創 3:15)</p> |
|---|---|---|
| <p>いまは最後の作品を作らなければならない。 □序論_アイデンティティ-私がかたで私たちの教会がどんな教会なのかはやくキャッチ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 器を広げなさい。この時代にこの地域が願うのが何かをキャッチすべきだ。 2. ユダヤ教(大きい神殿を作って何人かが動かす) -初代教会(全教会信徒が起きて伝道運動) 3. 7・7・7 祈りが一番幸せで力になればただ、唯一性、再創造が出てきてやぐらができる。それでこそ、旅程を行って道しるべを建てる。 <p>□本論_聖霊の満たし-聖霊の導き+聖霊の働き+聖霊の実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聖霊の導き 100% <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 13:1-4 聖霊が完全に導かれるように待つこと。人、場所、ことを完全に見えるように味わうこと 2) 使 16:6-10 門がふさがった時も 3) 使 19:1-7, 8 ティラノに行く前にマルコの屋上の部屋に起きたそのとおり祈り→神の国 2. 聖霊の働き 100%(ネフィリムを完全に打ち砕いた) <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 13:5-11 完全に暗闇が砕かれた。 2) 使 16:16-18 悪霊につかれた者を癒やし 3) 使 19:8-20 不治の病が癒やされる働き 3. 聖霊の実 100% <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 13:12 総督が弟子に 2) 使 16:31 ピリピの牢での働き 3) 使 19:21 ローマも見なければならない <p>△事業もこのようにすれば作品が出てきて、世界福音化される。ほかのことではできない。 □結論_ PK の質問</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以後のレムナント運動-本質を逃してはならない。 2. 霊的無能-やぐらを変えてこそ旅程を進み道しるべを建てる。これから作りなさい。レムナント一人一人に神様は絶対計画を持っておられる。 3. 助けを受ける生活になってはいけない。レムナントは助ける生活にならなければならない。 合宿訓練- 237 センター完成されればすること 4. 信仰生活、ただ、CVDIP -問題、答え、成功、失敗みな過程だ。みことばが成就したことだけが答えだ。この目を開いたのが、ただ、これを持って未来を見ることが CVDIP だ。 どのように礼拝成功-質問自体が成功 5. 生活ルーティン-毎日祈りの中に、毎時間答え確認、毎事件 300%確認→タラントが見える。 伝道、宣教-困難を受けている人がいればつながる。そのときに答えをあげれば良い。 カトリック-教会が神様のみことばの上であって、原罪(神様を離れたこと)を分らない。福音がない。献身して功績を立てれば救われると言う。善行は当然のことで感謝して献身するのだ。ただキリストでこそ救われる。 | <p>大人も同じだがレムナントの時 「急務な刻印の癒やし」を必ずすべきだ。違うことで刻印されているので、祈ることができない状態になっている。 □本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私も分からない間に私しか分からない。 1) 創 3:4-5 これを利用してサタンは不信仰を刻印させた 2) 創 6:4-5 だまされてネフィリムになる。 3) 創 11:1-8 努力したのがバベルの塔を築く。勉強が悪いのではなくてこれが先に刻印される 2. 文化→うまくいかないので人間はもがくしかなくて、ほかの文化に刻印される。 1) 使 13:1-12 宗教 2) 使 16:16-18 偶像 3) 使 19:8-20 迷信が作られるしかない。 3. 罫-これが今未信者状態 12。 1) ヨハ 8:44 知らないうちに私を引っ張って通う主人がいる。 | <p>御座のやぐら、旅程、道しるべ △御座のやぐらは三位一体の神様が働かれるので、御座の力が現れる。過去、現在、未来をみな成し遂げる力と 5 力、空中の権威を持つ支配者に勝つ力だ。それだけ味わうならば、5 千種族に門が続けて開かれる。未来を見る力と三つの庭、黙想時代、金土日時代の主役になるのだ。 △三位一体の神様が今もみことば、祈り、救いの働きを成し遂げておられる。10 奥義、土台が現れる。9 流れを変えることになって、5 確信が出てくる。人に会ったとき、一生の答えを与えることができる。今日のすべての現場はキャンプだ。 △カルバリの丘の道しるべ。オリブ山の道しるべ。マルコの屋上の部屋道しるべ。アンティオキアの道しるべ。アジアの道しるべ。マケドニアに行く道しるべ。ローマに行く道しるべ。この答えが成り立っている。 レムナントが外に出て行く前に刻印、根、体質になったことを変えなければならない。私たちの方法は、ただ、これだ。世の中の出で行く時は、唯一性を持って行って、再創造を持って挑戦する。それゆえ 300%が準備されなければならない。レムナントは学業を心配するな。300%答えがある。理由が何か。</p> <p>三つの根本を癒やさなければならず、私たちのレムナントを世の中を生かすサミットにしなければならないためだ。 <u>暗闇 X、三位一体 0、詩 103:20-22</u> 今も暗闇の勢力が崩れて、三位一体の神様の力で私たちに働かれて、天の軍勢を送って働かれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 3 根本癒やし <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 3:15 キリストがサタンの権威を打つ。 2) 創 6:14 ネフィリム時代を生きる者、箱舟の中に入れてくれば生きる。 3) 創 12:1-3 カルデア・ウルを生かすために先にカルデア・ウルを離れなさい。 2. わざわい文化癒やし 礼拝をささげるとき、根本癒やしが起こり、説教を通してわざわざ文化が癒やされる。 1) 使 13:1-12 暗闇文化、 2) 使 16:16-18 偶像文化が完全に癒やされる。 3) 使 19:8-20 ナザレのイエスの名によって悪霊が追い出される。このような不治の病が癒やされる。 3. 次世代癒やし 1) 使 17:1 キリストを分かることで次世代の癒やしが起こる。 2) 使 18:4 祈りが何か、 3) 使 19:8 答えが何かを確かに知らせて世界福音化しなければならない。 4. サタンの罫 完全に未信者状態でサタンの罫にかかっている。 |
| | <p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 28 教会の癒やし(使 11:19)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 教会が建てたサタンのやぐら 1) 使 11:1-8 コルネリウスの家で食事をしたのが誤っているように話した。 2) II コリ 10:4-5 信徒の中にサタンの要塞 3) ガラ 2:10-20 「イエスを信じててもユダヤ人の法を守らなければならない」 4) II コリ 4:4-5 世の中の人々はこのサタンの文化に身動きができない。この世の神 5) ヨハ 16:11-14 言われるとおりにする。世の支配者。 皆さんはこの契約を持って根本を癒やしなさい。行く所ごとに三位一体の神様は目に見えないように働かれて、すべての暗闇はみな砕かれる。また、天の軍勢を送って皆さんの働きを成し遂げられる。 | |

△区域メッセージ第 32 週/4 部世界を生かす見張り人
奥義のやぐら(使 1:1-8)

△私たちは病気になったり困難がくれば大変だ。考えることなく戦わなければならないのに、簡単ではない。私たちには神様が私たちの中に入れてくださった力、また、上から与えられる力がとても大きい。それゆえ、奥義やぐらを持っていなければならない。

□序論

- 創 37:11 この奥義やぐらは完ぺきな時刻表に成就する。ヨセフが世界福音化の奥義を話したとき、兄たちはあざ笑ったが、ヤコブはその話を心に留めた。
- 出 2:1-10 この子どもを育てて王宮に送ってイスラエルを生かさなければならぬと考えたのだ。ところで、正確に成就した。それゆえ、高齢でも若い人よりもっと大きなことができる。
- I サム 1:9-11 ハンナが持っていた奥義やぐらだ。
- I サム 17:18(16:13) 戦争が起きたがエッサイがダビデをお使いに送る。そのとき、ゴリヤテに会ったが、ダビデは確信を持ってゴリヤテに挑戦した。ダビデにはものすごい契約が与えられていた。その日以来、主の霊が激しく下った。
- II 列 2:9-11 ほかの神学生は持っていなかった奥義やぐらをエリシャは持っていた。エリシャは霊の 2 倍の分を私にくださいと言った。
- ダニ 1:8-9 捕虜になったダニエルが王宮に行くことになり、心を定めた。奥義やぐらを持って行ったのだ。
- 使 1:3、8 イエス様がこの奥義やぐらを 40 日間説明された。

□本論

1. 呼ばれた理由

- 教会信徒 マタ 12:26-30 多くの人がサタンのやぐらに閉じ込められている。それゆえ、聖霊が臨めばサタンが縛られて神の国が臨む。
- II コリ 10:4-5 私の中にほかのやぐら、暗闇やぐらが要塞を建てているので、そうではないと考える。
- ヨハ 16:11-14 サタンが世の中を思いのままに支配して王のようにしているので、人々を救い出す奥義やぐらを持たなければならない。

2. 受ける祝福

- カルバリの丘-すべて完了した。
- オリブ山-神の国のことについて 40 日説明した。
- マルコの屋上の部屋で体験し始めた。

3. 先に受ける答え

- 神様は私たちをサミットにしてください。王ではないが王のような人に、大統領よりさらに高い霊的サミットとされるのだ。
- ほかの人を癒やすのだ。
- その人々が生きることができるように特別やぐらを建てるのだ。

□結論

- 安らかに 3 集中すれば 3 セットアップが作られて、あらかじめ 3 答えがくる。
- 7・7・7-御座のやぐら、旅程、道しるべを味わいなさい。
- イエスが言われたとおり、証人になる。証人は持っている者で、見た者だ。

△聖日 1 部

見張り人の使命を先に回復すべき(イザ 62:6-12)

- 見張り人の契約-いのちと関係ある契約、時代を変える契約
- 考え-脳、たましい、御座に刻印(黙 8:3-5)
- 見張り人の契約を強く握りなさい。

□序論_見張り人が信じなければならぬこと

- イザ 6:13 神様が皆さんと呼ばれた。絶対計画の中にある者であることを毎日確認
- イザ 7:14 絶対契約 3. イザ 40:8 永遠のみことば
- イザ 40:12-31 地の果てまで創造された者、ただ主を待ち望む者は新しい力を得る。
- イザ 43:18-19 わたしが新しい事を行う。
- イザ 60:1-22 起きて輝け。レムナントが帰ってきて三つの経済が回復する。

△信仰は脳、たましい、すべてをひっくり返す。アブラハムが信じたとき、神様が義と認められた。

□本論_見張り人の契約

1. 見張り人の祈り(24)-終日終夜、主を休ませなければならない(6 節)

- 神様が 24 ともにおられて働かれるので見張り人の祈りを始めなさい。
- ヨセフ(創 39:2-6、41:38) 3)ダビデ(詩 23:1-6)
- 祈り 300%準備-答えは伝道運動、教会と人が生かされる
- イザ 7:14 キリストが目に見えないように聖霊で働かれる。これが 24 だ。
- ヨハ 19:30、マタ 28:18-20、使 1:8 御座のやぐらを 24 味わうように与えられた。
- ダニエル(ダニ 6:16、20)

△目を覚ますとき、閉じるとき祈って、どこでもしなさい。すべての現場を祈りに変えなさい。レムナントは祈り 24 で世界とやぐらを動かしなさい。

2. 見張り人の準備-大路を造りなさい(10 節)

- 再び奴隷、捕虜、属国、流浪の民にならないように大路を造りなさい
- イザ 7:14 から出る重要な旅程を行くための大路を開きなさい。
- 契約の旅程を行くように大路を造りなさい-7 旅程
 - 三位一体の神様 (2) 御座の土台 (3) 必ず勝つ奥義 10
 - 御座の確信 5 (5) 御座の流れ 9 (6) 一生の答え
 - 今日がキャンプ

3. 見張り人の使命-もろもろの民のために旗を揚げなさい(10 節)

- 237 か国、5000 種族、TCK・CCK・NCK と合うように準備しなさい。
- 職業を 300%にしなさい。
- どのようにすれば世界福音化することができるのか。堂々とした準備をしなさい。

□結論_この契約を握った人々

- 心を定めたダニエル-王を生かす人
- 死を恐れなかったシャテラク、メシャク、アベデ・ネゴ
- いつもしているように-祈りを逃さなかったダニエル
- 死ななければならないならば死にます-エステル 1 人が国を生かした。

△聖日 2 部/237 宣教委員会献身礼拝

世界宣教の奥義(使 1:8)

最善をつくしなさい、最高になりなさい、戦って勝利しなければならないと学んだだろう。そうするうちに病氣になる。

マタ 11:28 疲れて重荷を負っている者-わたしに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

マタ 4:19 わたしについてきなさい。人を捕る漁師にしてあげよう。

マコ 3:13-15 あなたがたを呼んだ理由-ともにいるため、伝道、悪霊を追いつく権威も与えるため

ヨハ 16:33 大胆でありなさい。わたしは世に勝ったのです。

使 1:8 聖霊に満たされれば力を受けて、地の果てまで証人になる。

ピリ 3:1-21 パウロ-今まで得たのを損に思う。キリストの手に捕らえられたそのことを捕らえに行く。上から呼ばれた召しの賞、天の国籍、万物を服従させる御名

□序論_見張り人

- 主が与えてくださったやぐらを建ててこそ、その旅程を進んで、道しるべを建てる。
- 刻印、根、体質を変えなければ、霊的癒やし、世界福音化できない。
- 方法はただ、行く時は唯一性を持って行って、再創造の作品を残さなければならない。
- 残りの者、巡礼者、征服者として行きなさい。
- ただで始まり、巡礼者の道は過程、終わりは征服者として行くこと
- 24、25、永遠 7. 守る者、知らせる者、生かす者
- ただで始めるということをつらなければ、世の中、サタンに仕える

□本論

- ただのやぐらを建てなさい。これは発見することだ。私 300%
 - 使 1:1 ただキリスト 2)使 1:3 ただ神の国 3)使 1:8 ただ聖霊
- 唯一性の旅程を行きなさい。これはあらかじめ所有することだ。現場 300%
 - 使 13:1-4 聖霊の導きを受けて行きなさい。
 - 使 13:5-11 聖霊の働きでネフィリム癒やし
 - 使 13:12 総督が弟子に
- 再創造の道しるべに挑戦しなさい。そうしてこそ世界宣教することができる。未来 300%
 - 237 の道 2)5000 の道
 - TCK、CCK、NCK と道が合わなければならない。

□結論_見えること

- ヨハ 19:30 過去、現在、未来を完全に解決されたカルバリの丘の契約
- 使 1:3 40 日間教えられた神の国のこと
- 使 2:1-13 マルコの屋上の部屋の 5 流れ(みことば、祈り、伝道、現場、一つの国)
- 使 11:19 散らされた者がアンティオキアに集まった。
- 使 13:1 史上初、キリストが宣べ伝えられる宣教師派遣が起こる。
- 使 16:6-10 トロアスからマケドニアに
- 使 19:21 ローマも見なければならない

△みことば成就、いのち運動、伝道運動が起きてこそ答えだ。皆さんの職業と人生が世界福音化に用いられるのだ。